

## 個人サンプリング法：定義と測定の基本的な考え方

### 環境・健康

作業環境中の有害物質の濃度管理のための測定として、日本では作業環境濃度の測定〔場の測定〕（A・B測定）が行われていますが、この場の測定（A・B測定）では適切な作業環境の評価とならない場合があります。

このような状況を踏まえ、個人サンプラーの特性が特に発揮できる作業について、個人サンプリング法による作業環境管理のための作業環境測定（C・D測定）が先行導入されました。

個人サンプリング法の定義と作業環境測定（C・D測定）の基本的な考え方を下記に示しました。

### 個人サンプリング法の定義

※個人サンプリング法は、

☆当該指定作業場において作業に従事する労働者の身体に装着する試料採取機器等を用いて行う作業環境測定に係るデザイン及びサンプリングである。

☆「試料採取機器等」の「等」には、検知管方式による測定機器が含まれる。

### 個人サンプリング法による作業環境測定の考え方

※個人サンプリング法による作業環境測定は、

☆評価基準に基づき測定値を統計的に処理した評価値と測定対象物質の管理濃度とを比較して作業場の管理区分の決定を行うものであり、

☆個人ばく露測定には該当しない。

### kes サポート

目的	課題	kesサポート
把握	作業環境への有害物の発散状況	作業環境測定
	作業者の有害物のばく露状況	個人ばく露モニタリング
	既設の局所排気装置の性能	局所排気装置性能検査
改善	作業環境への有害物の発散抑制	排・換気設備の改善・設置
	有害物の体内侵入防止	呼吸用保護具、保護手袋等の使用
教育	有害物取扱い作業者の衛生意識の向上	労働衛生教育